

<令和7年8月19日長久手市指定管理者選定委員会 質疑要旨>

I 申請者①

◆人員配置について

Q. 人件費が上がっていると思うが、どう考えるか。

A. 人件費は上げなくてはいけない。最低賃金6%アップも把握している。

◆観覧料等収入に関すること

Q. 観覧料以外に料金をとらないのか。

A. ワークショップなどの体験コーナーでは、体験料を徴収できるものがあれば徴収していきたい。

◆他施設での実績について

Q. 他の施設では、ニーズに応えているか。実績をどう振り返るか。

A. 継続して事業を続けることでリピーターが増えてきた。

Q. 他の施設の運営をする中で見つかった課題と、それを長久手に活かすポイントは。

A. 小中高、大学生の来場が少ないということが課題。長久手では、学生ボランティア、アウトリーチを増やして呼び込んでいきたい。

それでも大学生はなかなか手が上がらないと思うので、いろいろな切り口で学生ボランティアを集め、その友達や家族など若い人を呼びたい。

Q. 他の施設の後発企画ばかりにならないか。

A. オープンフィールドミュージアムをはじめ、今回提案している自主事業は、他の施設から持ってきた企画はほとんどない。長久手のオリジナリティが必要だと感じている。

◆次世代の取込みについて

Q. 小中学生の社会見学での来館は見込んでいるか。

A. 社会見学での利用はもちろんだが、部活動地域移行の受け皿としても活用してもらいたい。他にも、ゲームツール等を観光協会や郷土史研究会等と作っていき、市民の「楽しい」「好き」につなげていきたい。

◆利用促進の取組について

Q. SNSを活用する予定はあるか。

A. インスタグラムを予定している。イベント情報以外のことも発信したい。

Ⅱ (株)トヨタエンタプライズ

◆関係機関へのヒアリングについて

Q. どこにヒアリングを行ったか。一般市民にも行ったのか。

A. 市内の関係団体や地域の大学などに行った。一般市民には行っていない。

◆収支計画について

Q. 1年目から2年目にかけて観覧料収入の計画が減っている理由は何か。

A. オープニング特需で開館当初は多いこと。また、大河ドラマが放映されることによる。なるべく2年目以降をダウンさせないようにがんばりたい。

Q. 観覧料の額を設定した根拠は何か。

A. 規模の近い施設と比較した。それらは200円や400円等の観覧料であり、長久手古戦場記念館は駅から近いという点などを加味した。

Q. 観覧料以外の収入は見込まないか。

A. イベントやワークショップで参加費を徴収することは考えている。

Q. 人件費が上がってきていることについてどう考えているか。

A. 申請書作成時点で最低賃金6%アップという数値がまだ出ていなかったもので、直近の3%として見込んだ。

◆学芸員について

Q. 学芸員は御社にいるのか。

A. 数人いる。

Q. 申請書には特定の学芸員を想定して書かれていると思うが、どのような方か。

A. 現在大学院博士課程の方で、既に面接を済ませ、指定管理者に選定された場合は担ってもらう約束をしている。

Q. 社会人経験がないが大丈夫か。

A. 研究の中で、郷土史に関する施設で収蔵管理などをしているので、問題ない。他の学芸員資格を持った社内の者によるサポートも可能である。

Q. 学芸員のネットワークは太いのか。

A. 大学教授やOB会などのつながりがあると聞く。

◆次世代の取込みについて

Q. 次世代の若者達に愛着をもってもらう取組は考えているか。

A. 博物館の展示の入替え等により、いろいろな層に刺さるようにしたい。若年層には、ワークショップなどつつきやすいコンテンツが必要と考える。施設で待ってるだけでは来てもらえないので、学校に出向いていきたい。

◆利用促進の取組について

Q. 利用促進の取組は、自社で作ったのか。それともコンサルに提案をさせたのか。

A. 自社で作っている。学芸員や、長久手古戦場記念館の設計をしている株式会社トータルメディア開発研究所にも聞き取りながら作った。

Q. 関心表明書が作られているが、提案書にある企画の核は誰が作ったのか。

A. 作ったのは配属予定の学芸員である。

Q. 地上1階の芝生広場などの使い方について、利用イメージはどのような経緯で生まれたのか。

A. 他に管理している施設で、芝生広場を活用するノウハウがあり、各施設をヒアリングしながら作った。

Q. SNSの活用は予定しているか。

A. Instagram、Facebook、LINE等を想定している。オープン前から準備過程を見せたり、運営の裏側を見せたりするコンテンツを発信できると良い。オープン直後から継続的なフォロワーを獲得していきたい。

◆他施設での経験について

Q. 他の博物館等の運営をしている中で気づきを得た点はあるか。

A. 来場者に対しどういう説明をしたら理解し、興味をもってもらえるかが、とても重要となる。

◆フィールドミュージアムについて

Q. フィールドミュージアムの計画を教えてください。

A. 史跡だけでなく、観光拠点もつなぎ、市内の観光スポットを含めたマップを作成し、史跡を中心とした市内観光周遊を推進していきたい。